

平成28年 奥州市長

新年の抱負

～手をつなぎ築こう協働のまち～

【奥州市の魅力を引き出す地方創生】

私は、奥州市には奥州市の素晴らしさがあると感じております。都会にはない財産が数多くあり、幸せを実感できる素晴らしい場所だと思えます。そうした奥州市の魅力をしっかりと引き出すことこそが、まさに、地方自治体に求められた責務であると考えております。

「地方創生」はまちづくりです。その礎には、奥州市を愛し、奥州市を応援する人の存在が不可欠です。「人」が「しごと」をつくり、そして「まち」をつくります。

奥州市にある多様な資源に目を向け大きく育みながら、市民自身が奥州ファンになり、市外や都会に新たな奥州ファンをつくる住民協働の姿が必要で、こうした多様な人材育成に合わせ、奥州市を応援

【協働のまちづくりは第2ステージへ】

23年度から、地域それぞれの歴史や文化を大切にしながら、互いに尊重し合うことを基本として協働のまちづくりに取り組み、「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち」の実現を目指してまいりました。この5年間で、それぞれの地域において主体的で活発な取り組みが行われ、地域自治力の強化が進んだものと感じております。

さらに本年からスタートする「協働のまちづくり第2ステージ」では、これまでの協働の営みや実績を土台として、

新年あけましておめでとう
ございます。
本年は奥州市の誕生からいよいよ10周年を迎えます。市民の皆さまには、奥州市の発展に向けた市政運営に対し、ご理解とご協力を賜りましたことに心よりお礼申し上げます。
2月20日には、合併10周年を記念し、新市誕生10周年記念式典を挙行することとしております。市民の皆さまと共にこの10年を振り返り、「奥州市になって良かった」と感じていただき、そして次の10年に向け、さらに皆さまが安全で安心に、夢をもって暮らしていけるまちを目指してまいりたいと考えております。

【希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の成功に向かって】

本年、岩手県では昭和45年以来となる国民体育大会「希

望郷いわて国体」と岩手県では初めてとなる全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が開催されます。
奥州市ではボクシング、バスケットボール、ウエイトリフティング、卓球、馬術、弓道、カヌーが国体競技として、卓球およびサウンドテーブルテニスが大会競技として開催されます。高いレベルの選手の活躍を見ることが、子どもたちの競技力の向上やスポーツの振興につながる良い機会です。
市民の皆さまが大会運営の一員として参加し、そして楽しむことで、大会の機運が一層高まるものと考えております。

出場選手と共にボランティアや花いっぱい運動で大会を彩り、成功裏に行われるよう一丸となって取り組んでまいりましょう。

市民による地域自治の自立と自律を促すさらなる取り組みを進めてまいります。
市民公益活動団体や市民が、地域課題の解決と地域活性化のため、将来を見据えた提案を持ち寄り、事業化に向けて話し合う場「協働の提案テーブル」の仕組みを確立してまいります。

【未来に負担を残さない財政運営の健全化】

人口減少や少子高齢化が進むことにより、社会の生産力が低下し、将来的に市税の減少が見込まれる中、財政運営の健全化は、中長期的な視野を持って取り組んでいかなければならない重要な課題です。

健全な財政運営の基本は、収入に見合った歳出規模で継続的に安定した行政運営ができる体制を整えることです。このことが奥州市の発展につながるかと確信しております。

大切なことは、現在の市民負担を増やすことなく、また未来の子どもたちに負担を残さない奥州市をつくり上げることです。28年においても、この視点をもって、財政の健全化にしっかりと取り組んでまいります。

また、現在の市政運営に対する批判につきましては、真摯に向き合うとともに、信頼回復に努め、公約の実現に向けてまい進してまいります。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに「幸せを実感できるまちづくり」の実現に向け、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

奥州市長
小沢昌記

